

「今年こそ勝ちたい」女子サッカー部

八戸学院大女子サッカー部の監督、選手ら5人が13日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に第26回全日本大学女子サッカー選手権(25日～来年1月14日・東京都ほか)へ出場することを報告した。

同部は東北地域大学女子サッカーリーグ(9～11月)で3勝1敗で連優勝を収め、3年連続3回目の全日本の切符を手に入れた。續橋菜摘主将はこれまでの試合を振り返り「勝ちにいったが力不足だった」と唯一敗北を喫した仙台大との一戦を反省。全日本初の1勝に向け「出場できることを誇りに思い、今年こそ勝ちたい」と初戦突破を誓った。同部は25日に兵庫県

三木市の三木総合防災公園陸上競技場で札幌(中山瑞希)大との1回戦に臨む。



小林眞市長(左から3人目)と八戸学院大女子サッカー部の選手ら

八学大生 健闘誓う 全国大会出場 市長に報告

「1回戦 必ず勝つ」アイスホッケー部



小林眞市長(左から3人目)と八戸学院大アイスホッケー部の選手ら

八戸学院大アイスホッケー部は13日、八戸市庁を訪れ、小林眞市長に第90回全日本学生氷上競技選手権(25～29日・八戸市ほか)へ出場することを報告するとともに、東北第1代表として戦う決意を語った。この日訪れたのは、高嶋健一監督、柳田幸司主将、田村優典アシスタントキャプテンの3人。同部は東北地区学生選手権

で東北大、八戸工業大、東北学院大をトーナメントで下し優勝。3試合で17得点1失点と美力を見せつけた。柳田幸司主将は「1回戦を必ず勝って、2回戦に進みたい」と初戦の慶大戦に向け気合は十分。小林市長は「皆さんに感動を与えられるよう頑張ってください」とエールを送った。(中山瑞希)